

別表2 大学院研究科獣医保健看護学専攻博士前期課程授業科目及び単位数

専 門 分 野	授 業 科 目	単位数	備 考
基礎獣医保健 看護学分野	動物感染症学特論	2	
	野生動物医学特論	2	
	動物看護生理学特論	2	
	分子遺伝学特論	2	
	公衆衛生学特論	2	
	動物微生物学特論	2	
	動物生態学特論	2	
	野生動物学特論	2	
	水族医学特論	2	
基礎獣医保健看護学特別演習	4		
基礎獣医保健看護学特別研究	8		
臨床獣医保健 看護学分野	実践動物看護学特論	2	
	動物看護病態学特論	2	
	動物看護代謝学特論	2	
	動物看護倫理・教育学特論	2	
	動物行動学特論	2	
	臨床検査学特論	2	
	高次機能学特論	2	
	動物心理学特論	2	
	臨床獣医保健看護学特別演習	4	
	臨床獣医保健看護学特別研究	8	
	共 通	特 別 講 義	4

履修上の注意

1. 指導教員の担当する特論2単位、特別研究8単位、所属分野の特別演習4単位及び特別講義4単位の計18単位を必修とし、指導教員以外の特論及び所属分野以外の特別演習から12単位以上履修して合計で30単位以上修得しなければならない。

別表3 大学院研究科獣医保健看護学専攻博士後期課程授業科目及び単位数

専 門 分 野	授 業 科 目	単位数	備 考
先端獣医保健 看護学	動物生体機構学特別演習	4	
	動物環境科学特別演習	4	
	実践動物看護学特別演習	4	
	動物保健看護システム学特別演習	4	
	動物生体機構学特別研究	8	
	動物環境科学特別研究	8	
	実践動物看護学特別研究	8	
	動物保健看護システム学特別研究	8	

履修上の注意

1. 指導教員の担当する特別演習4単位及び特別研究8単位、計12単位を必修とする。
2. 他の特別演習を履修する場合は、必ず指導教員の指示によるものとする。
3. 必修12単位は2年次までに修得し、3年次には博士論文作成に集中することが望ましい。